



種子島地区一日トレセン



発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表)099-252-0600

さて、昭和二年に県内三校の小学校で少年赤十字団が発足し、今年には九十年目を迎えています。現在は五〇〇を超える青少年赤十字加盟校(園)の子供たちが、様々な活動を通して、人道の精神を育んでいます。

青少年赤十字活動は指示待ち人間を、主体的に考え、行動できる人間に変えてくれる活動だと信じています。先生の指示を受けて物事をやりとげることより、自ら気づき主



「気づく力」は生きぬく力
青少年赤十字指導者協議会
会長 福留隆二

「先生、張り物が傾いています。」と気づいて教えてください。一方、近くに押しピンが落ちていないか、探そうとする子はもつとすてきです。後者は「気づき、考え、実行する」態度目標の目指す姿かもしれません。自分だけでなく、他人の「安全」にも気を配ることができ、すてきな未来の社会人です。

「まもるいのち ひろめるぼうさい」で学ぶ
県教育庁義務教育課
指導主事 内真奈美

青少年赤十字を推進する意図や意義について、学校教育の中における青少年赤十字の現状と取組、実践例の発表や演習を通して一層の理解を深めることを目的とする「青少年赤十字研究会」に昨年一月参加させていただきました。

研究会では、「青少年赤十字防災教育プログラム」まも

体的に動いた方が、達成感は大いなものがあります。青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターにおいて、スタッフからの声の指示を出さず、参加者が掲示板を見て、次の行動を考え、動いてもらう進め方も「気づく力」を高めるねらいがあります。

今年度も多くの事業を実施いたしました。関係者の皆様の御理解と御支援をいただきました。多くの成果を収めることができました。来年度も更なる御指導・御協力をお願いいたします。

青少年赤十字

実践目標
健康・安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標
気づき、考え、実行する

るいのち ひろめるぼうさい」について、制作者の思いを伺いながら内容を理解するとともに、模擬授業を通して活用の在り方について認識を深めることができました。平成二十七年一月に本教材は全国の学校に配布されているものの、教材の認知度が高いとは言えず、実際に活用できている学校は二割程度(平成二十八年一月抽出調査)との報告を受けました。本教材は、御覧になっていただければ有用性が非常に高いことは一目瞭然です。授業で使いやすいよう工夫された内容、発達の段階に応じた解説など、先生方の指導に即役立つプログラムが豊富に準備されており、映像教材や指導案、ワークシートも大変充実しています。

「気づき、考え、実行する」という態度目標に基づいた本教材の積極的な活用が、各学校における児童生徒の防災に対する知識と行動力はもとより、他者への思いやり、優しさを育んでいくことを期待しています。

第6ブロック青少年赤十字海外派遣事業

・派遣国 ベトナム社会主義共和国
 ・期間 平成29年8月17日(木)～23日(水) 6泊7日
 ・参加者 29名(九州各県)
 本県参加者 5名
 崎向颯斗(鹿児島玉龍高等学校) 福山優由(鹿児島女子高等学校)
 福元浩子(指導者、ほびあこども保育園副園長)
 矢野宏一(副団長、鹿児島県支部事業推進課長)
 ・主な活動 TOTOベトナム工場見学、ベトナム赤十字本社表敬訪問、ベトナムRCYメンバーとの交流、マングローブ植樹体験、中学校訪問、世界遺産ハロン湾視察 など



ベトナムで過ごした夏

鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校 2年 崎向 颯斗

私は去年の夏、ベトナム社会主義共和国という私にとっては未知の場所に行ってきました。今回の派遣では、ベトナムの赤十字活動について学んだり、日赤の支援で防災のために使われているマングローブの植林体験、ベトナムの青少年赤十字関係のメンバーとの交流を行いました。また、トイレメーカーで有名なTOTOのベトナム工場を見学し、日本の企業がどのようにベトナムに関わっているのか、そして、日本経済のベトナム進出によってどのような変化がベトナムに起きているのかについて学ぶことができました。ここで体験したすべてを語るには何時間かかるのでしょうか。そう思うくらい私にとって大きな財産となりました。この体験をこれからは経験として世界に羽ばたく人になりたいと思います。

海外派遣事業に参加して気づき考えたこと

鹿児島市立鹿児島女子高等学校 2年 福山 優由

同じ志を持つ海外のRCYメンバーと交流し、また私は幼児教育に携わりたいという将来の夢があり「人間の命と健康、尊厳を守る」ことを学び実践していく青少年赤十字の国際的な視点で捉えたいと参加を決めた。何より直接ベトナムの子どもたちとの触れ合いが楽しみであった。一つ忘れられない話がある。「地雷が埋まっている」と書かれた看板があっても文字の読めない子どもたちの中には敷地内に入り、足や腕、命までも失くしてしまうことがあるという。子どもたちを救うには全員が学校に通い勉強できる環境を作るべきであり、文字が読めることで救われる命があること、教育の大切さ・ありがたさを改めて考えさせられた。社会人となってからも青少年赤十字に関わる指導者の姿勢に触れ、私も奉仕の心を学び実践し続けていきたい。

NHK海外たすけあい募金活動

12月1日(金)から25日(月)まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンが実施されました。

「NHK海外たすけあい」は、世界各地で起こる災害や紛争、飢餓や病気などで苦しんでいる人々を救うために、NHKと日本赤十字社が共同で実施しているものです。青少年赤十字のメンバーは、日赤鹿児島県支部が県内7会場(鹿児島市(3会場)、南さつま市、薩摩川内市、霧島市、鹿屋市)で実施した街頭キャンペーンに、青少年赤十字賛助奉仕団と赤十字地域奉仕団などと街頭募金の呼びかけを行いました。延べ215名で街頭に立った今年は、昨年を上回る総額458,204円でした。ご協力有難うございました。



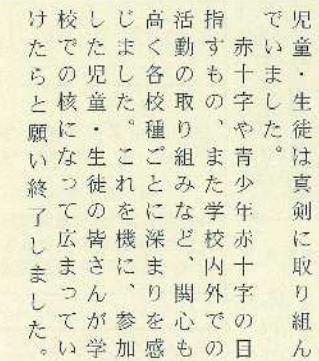
平成29年度 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

中学校トレセン 8月2日(水)～4日(金) 霧島自然ふれあいセンター	種子島地区一日トレセン 7月16日(日) 西之表市民会館	指導者(担当者)養成講習会 8月17日(木)～18日(金) 霧島自然ふれあいセンター	園児のための青少年赤十字講習会 6月24日(土) 鹿児島県赤十字会館
---	---	---	---



中学校トレセン
今年度も多くの地区から中学生が参加し、充実したトレーニングを行うことができた。始めは不安と緊張でいっぱいだったが、一つ一つの活動を終えるごとに表情は柔らかくなり、お互いに声を掛け合いながら自主的に活動する姿が見られるようになった。生徒一人一人が自己の行動管理や先を見越した行動を主体的にとれるようになるには、口頭からの意識付けが必要となります。そのことを、様々な活動を通して学ぶことができたのではないかと思います。今後、トレセンに参加した中学生が、学校や地域でリーダーとなって活躍してくれることを期待しています。

中学校トレセン



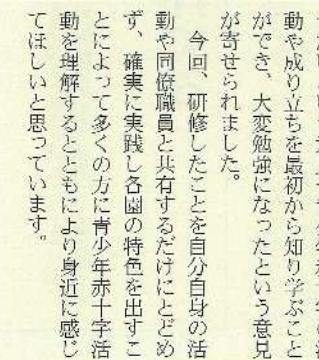
種子島地区一日トレセン
離島でのトレセンも、大島地区が終わって、種子島地区で開催されました。各離島では研修の機会が少なく、また加盟校も少なく(五校)初めての開催でしたが、十校、二十五名の参加がありました。一口トレセンは少ない時間の中で研修で、内容や進行に苦慮しましたが、参加した児童・生徒は真剣に取り組んでいました。赤十字や青少年赤十字の指導の取り組みなど、関心も高く各校種ごとに深まりを感じました。これを機に、参加した児童・生徒の皆さんが学校でのご活躍を期待しています。

種子島地区一日トレセン



指導者(担当者)養成講習会
今年度も新しい風が吹きまわりました。今年もスタッフ・参加者の皆さんの協力もあり大変実りの多い充実した二日間になりました。二日間のワークショップで研修のまとめとして、本講習会で学んだことを取り入れ、それぞれの園・学校でできることを活動計画案としてまとめることができました。この研修会が青少年赤十字の指導者としての入り口であり、それぞれの先生方が、これからの「気づき、考え、実行する」ことでさらに青少年赤十字の輪が広がっていくのではないかと考えます。一つでも多くの輪が広がっていき、協力しサポートしていきたいと思えます。

指導者(担当者)養成講習会



園児のための青少年赤十字講習会
今年度の講習会では、赤十字について詳しく知ってもらいたいと思いDVD等を使用した時間を多く取り入れました。また、各国での青少年赤十字活動の発表、避難訓練実施計画等の資料を参考に情報交換も行いました。参加者より、今後活動していく上でとても参考になり、園で取り入れていきたいという意見や青少年赤十字の活動や成り立ちを最初から知り学ぶことができ、大変勉強になったという意見が寄せられました。今回、研修したことを自分自身の活動や同僚職員と共有するだけでなく、確実に実践し各園の特色を出すことにより多くの園に青少年赤十字活動を理解するとともにより身近に感じてもらいたいと思っています。

園児のための青少年赤十字講習会

一日リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校

期日: 平成30年2月3日(土)
内容: 非常食炊き出し実習、グループワーク(いえまですごろく)、赤十字と青少年赤十字、ワークショップ等
参加校: 坂元台、福平、名山、花野、坂元、皇徳寺、(順不同) 入来、阿久根



中学校

期日: 平成30年1月20日(土)
内容: 非常食炊き出し実習、グループワーク(いえまですごろく)、青少年赤十字と生徒会活動、私たちの生徒会(ボランティア)活動、ワークショップ等
参加校: 桜丘、伊敷、吉野、星峯、武岡、谷山、清水、(順不同) 福平、南指宿、川辺、阿久根、大川内中、米ノ津、山水、宮之城、国分、吾平



高等学校

期日: 平成30年2月11日(日)
内容: 非常食炊き出し実習、春季総会、健康安全プログラム等
参加校: 鹿児島情報、鹿児島女子、甲南、(順不同) 樟南、鹿児島、薩南工業



加盟校(園)数(3月1日現在)

保育園33園、幼稚園35園
 小学校300校、中学校128校
 高等学校23校、特別支援学校3校
 合計 522校(園)

★平成29年度新規加盟校(園)★

【保育園】田上、鴨池、薬師、なぎさ(4園)
【幼稚園】すまいる (1園)
【小学校】西田、西紫原、市比野、永野、鶴壮学園、有明、松山、菅牟田、荃南、平山、大川、長谷、尾母 (13校)
【中学校】伊集院、神村学園中等部、鶴壮学園、国分、山、尾母 (6校)
【特別支援学校】鹿屋養護学校 (1校)

計25校(園)

鹿児島県支部

【第6回100文字作文】コンクール

日本赤十字社鹿児島県支部と青少年赤十字指導者協議会では「人道・博愛」の精神の普及及び青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」の啓発に資するため、「100文字作文コンクール」を実施しました。県内の90校の小・中・高校生から10,283点の応募がありました。

2月12日の審査会で各賞の審査を行い、優秀な作品を決定しました。

なお、今後は優秀な作品を作品集として作成し、各加盟校にお届けします。

今回は支部長賞を紹介します。

支部長賞

鹿児島市立山下小学校	2年	中宮	生翔
鹿児島市立南小学校	3年	中山	琴葉
鹿児島市立皇徳寺小学校	6年	木場	美春
鹿児島市立吉田南中学校	3年	喜久	野乃華
鹿児島高等学校	1年	久保田	剛瑠

